



理工学研究科 博士後期課程

外国人学生入試募集要項 〈2023年度 4月入学用〉

1. 募集研究科・専攻・募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員
理工学研究科	情報システム工学専攻	博士後期課程	若干名
	生命理学専攻		
	環境共生工学専攻		

2. 出願資格

日本国以外の国籍を有し、次の（１）～（３）のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者、または2023年3月までに取得見込の者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を取得した者及び2023年3月までに取得見込の者
- (3) その他本学研究科委員会において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

※ 外国と日本の両方の国籍を有する人についても出願を認めます。

※ 上記の(1)(2)には、外国人留学生として日本の大学を卒業（見込を含む）した人、または日本の大学院の課程を修了（見込を含む）した人を含みます。

※ 上記の(1)(2)には、日本において通常の高学校教育の課程を修了した人を除きます。

※ 出願資格について不明な点がある場合（とくに外国の大学出身者）は、出願する前に、本学理工学部事務室に問い合わせること。

[注意事項]

出願前に、指導を希望する教員に博士後期課程の研究・教育等について必ず相談すること。

各教員の研究・教育内容他、理工学研究科に関わることは、ホームページから確認することができます。

- 理工学研究科入試に関わるホームページ

<https://www.soka.ac.jp/admissions/exam-info/graduate/t-grad/>

3. 出願期間

2022年8月22日（月）～10月7日（金） ※必着

4. 検定料：33,000円

[検定料支払ページ URL]

<https://payment.soka.ac.jp/graduate2/>

[利用可能なクレジットカード]



[注意事項]

- ・ ホームページ (URL は上記の通り) より上記のクレジットカードで支払い、出願時に検定料支払確認書類を添付すること。
- ・ 検定料の支払いは必ず出願期間内に完了させてください。締切日を過ぎると出願は受け付けられません。
- ・ 一度支払われた検定料は返金できません。

5. 出願書類

種類	出願書類及び注意事項
A	●入学願書 (本学所定の用紙) * 枠内の全てに記入する。ただし※欄には記入しないこと。 * 顔写真 (3 cm×4 cm 上半身・無帽・無背景・3 ヶ月以内に撮影したもの) を1枚貼付する。 * 学歴欄には、在籍した全ての学校名・所在地・転出年月・転入年月等記入すること。所定の欄に書ききれない場合は、詳しい学歴を記入した用紙を添付すること。
B	●顔写真2枚 * 最近3 ヶ月以内に撮影した顔写真で、3 cm×4 cm 上半身・無帽・無背景のもの。カラー可。 * Aの入学願書に貼付するものとは別に2枚提出すること。
C-1	●出身大学の成績証明書 * 全学年にわたるもの。
C-2	●出身大学院 (博士前期課程/修士課程) の成績証明書 * 全学年にわたるもの。
C-3	●出身大学の卒業証明書 * 発行されない場合は卒業証書を提出すること
C-4	●出身大学院 (博士前期課程/修士課程) の修了証明書、修了見込証明書 * 修了見込証明書を提出した者は修了後速やかに修了証明書を提出すること。 * 上記証明書を提出できない場合は、修了証書を提出すること。
C-5	●学位記 (学士・修士双方) * 学位を取得したことを証明するもの。 <u>卒業証明書・修了証明書に学位を取得したことが明記されている場合は、提出する必要はない。</u> * 修士号取得を証明するものがない場合は、出身大学の学長等による大学院博士後期課程への進学資格を証明する書類を提出すること。
C-6	●推薦書 (2種類) (本学所定の用紙・該当者のみ) * 1通は最終学校の学長、学部長または指導教授が作成したもの。日本語学校の教員のものは不可。もう1通の推薦者は特に制限しない。 * 本学出身者 (大学院修了者・学部卒業者・別科からの進学者) は提出不要。
C-7	●日本語能力試験合格証明書 (該当者のみ) * 日本語能力試験を受験した者は提出すること。
C-8	●英語能力証明書 (該当者のみ) * ACT・SAT・GCE・TOEFL等を受験した者は提出をすること。

C-9	<p>●大学入学資格試験証明書（該当者のみ）</p> <p>* 志願者がその国の学校教育制度の中で、大学入学資格試験や統一試験を受験した者は提出すること。</p>
D	<p>●本学における研究計画書（本学所定の用紙）</p> <p>* 研究科名・専攻名・氏名(ふりがな)を明記すること。</p> <p>* 日本語又は英語で作成すること（ワープロ使用可）。</p> <p>* 「志望理由、研究題目(希望指導教員名)、研究目的、研究計画」の順に、項目ごとに記述のこと</p>
E	<p>●修士論文の要旨</p> <p>* 日本語または英語の修士論文要旨がある場合は提出すること。</p>
F	<p>●指導教員受入承諾書（本学所定の用紙）</p> <p>* 出願前に、指導を希望する教員に博士後期課程の研究・教育等について相談し、希望指導教員のサインを必ずもらうこと。サインされた書類はスキャンデータをプリントしたものでも可。</p> <p>※情報システム工学専攻は、スカイプ等で必ずコンタクトをとること。</p>
G	<p>●経費支弁書（本学所定の用紙）</p> <p>* 大学院在学中における学費、生活費について、支弁の裏付けになる書類（銀行残高証明書等）を所定の用紙に添付し、提出すること。</p> <p>詳細は「経費支弁について」の欄を参照のこと。</p>
H	<p>●検定料支払確認書類</p> <p>* 検定料を本学ホームページからクレジットカードで支払い、支払い完了の際に表示された画面、もしくは確認メールの文面をプリントアウトしたものを提出すること。</p>

6. 出願上の注意事項

- (1) 全ての書類を日本語もしくは、英語で作成すること。
- (2) 提出された各種証明書等が、日本語又は英語以外の言語で記載されている場合は、必ず日本語又は英語の翻訳を添付すること。
- (3) 受理された出願書類の記載事項についての変更は認めません。
- (4) 入学願書は、1専攻のみ許され、併願は認めません。
- (5) 一度受理した出願書類及び検定料は、理由のいかんに関わらず一切返還しません。
- (6) 提出書類に虚偽の記載があった場合は、合格及び入学許可を取り消すことがあります。
- (7) 出願書類等に不備があるもの、及び出願期間を過ぎて提出されたものは、選考の対象とはしません。

経費支弁について

経費支弁書については、所定の用紙に経費支弁者が署名し、以下の要領により経費支弁の裏付けとなる書類を添付してください。

(1)本人が経費を支弁する場合

- 本人名義の預金残高証明書（日本円で150万円以上の残高を証明できるもの）

(2) 本人の親族が本国から送金して支弁する場合

- 送金者名義の預金残高証明書（日本円で150万円以上の残高を証明できるもの）
- 在職証明書

- 年収証明書
- 本人との関係を証明する文書（戸籍謄本、住民票、親族公証書等）

(3)奨学金で支弁する場合

- 奨学金給付額、給付期間、給付期間が明記された奨学金給付証明書（支給金額の合計が年間で150万円程度になるもの）

(4) 日本在住者が経費を支弁する場合

- 総所得金額の記載のある課税証明書（確定申告控の写し、源泉徴収票、等）
- 在職証明書（自営業の場合は登記簿謄本の写しまたは営業許可証等）
- 住民票
- 知人、友人の場合、本人との関係がわかる資料（一緒に写っている写真など）

※学費減免（「奨学制度」参照）を同時に申請する場合、その審査と平行し、経費支弁能力を審査する。その場合、預金残高証明書等で証明する金額は150万円に満たないものでも提出を可とする。

7. 選考の方法

研究科	専攻	選考方法
理工学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システム工学 ・ 生命理学専攻 ・ 環境共生工学 	1. 書類審査 2. 口述試験（※）

■口述試験実施日

2022年11月12日（土）または13日（日） ※日本時間

※ 口述試験は創価大学キャンパス内で実施します。

※ 日本国外に居住する外国人については、Skype等による口述試験も可能です。

※ 試験開始時間は時差を考慮して決定します。おおよそ試験の2週間前までに連絡します。

8. 合格発表

2022年12月2日（金）午前11:00（日本時間）

判定結果は、以下3項目のいずれかを、全受験者にメールで伝える。

- ①合格 翌年4月から大学院への入学を許可する
- ②不合格 審査の結果合格基準に達していない。
- ③出願資格無し 大学院入学資格が認められない。

※合格者には合格通知書と関係書類を送付します。

※合否に関する、電話・郵便での問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

合格者は、各入学手続の所定の期間内に入学手続および入学金・学費等の納入をしてください。詳細については、合格発表の際に文書で通知します。

(1) 第1次入学手続期間

第1次入学手続期間では、合格者は以下の手続を行う必要があります。

1. 入学金の納付： **JPY 200,000-**
2. ビザに関する書類の提出
3. 入学後の住まいに関する書類

期 間：2022年12月8日（木）～12月15日（木）

(2) 第2次入学手続期間

第2次入学手続期間では、合格者は学費の納入と入学手続書類の提出を行う必要があります。

1. 学費の納付： **JPY 770,000- or JPY 385,000-**
2. 入学手続書類の提出

期 間：2023年2月20日（月）～2月28日（火）

2022年度学費（参考額）

項 目	一括払い	2回分割払い		納入時期
	入学手続時	入学手続時	秋学期納入時	
入学金 ※	200,000 円	200,000 円	—	第1次入学手続期間
授業料	440,000 円	220,000 円	220,000 円	第2次入学手続期間
在籍料	60,000 円	30,000 円	30,000 円	
教育充実費	150,000 円	75,000 円	75,000 円	
実習費	120,000 円	60,000 円	60,000 円	
合計	970,000 円	585,000 円	385,000 円	

※ 本学博士前期課程および修士課程修了者の博士後期課程の入学金は、免除する。

(3) 注意事項

1. 上記の納入期間内に手続を行わない場合は、合格を取り消します。
2. 授業料等は、手続期間内に必ず完納して下さい。納入回数は、1回払（入学手続時に一括納入）又は、2回分割払い（春学期・秋学期に分割納入）が選択できます。
3. 手続後、事情により入学を辞退する場合、入学金を除く授業料等を返還します。ただし、入学式の前日までに届け出のあった場合に限りです。

10. その他

(1) 在留資格認定証明書の申請、ビザの取得について

入学を許可された外国籍の者は原則として在留資格「留学」の取得が必要です。入学許可後に在留資格取得、入国および滞在に関する手続をすることになります。

● 大学による代理申請

「在留資格認定証明書」交付申請は、大学が代理申請を行います。入学手続きの際に「在留資格認定証明書交付のための大学代理申請確認表」(本学所定用紙)を提出してください。提出がない場合は、大学では在留資格認定証明書の申請は致しませんので、ご注意下さい。

- 「在留資格認定証明書」についての許可は法務省が行うものであり、不許可となった場合について大学は責任を負うことはできません。
- 代理申請をした場合でも、法務省より必要に応じて証明書等の提出を求められることがあります。

(2) 留学生向け奨学制度について

● 学費減免

本学では、大学院に在籍する外国人学生に対し、学費（入学金および在籍料を除く）を全額免除する制度がある。学費の減免を希望する者は、入試出願時に所定の「学費減免申請書」と直近（※）1年間の家計支持者の収入を公的機関が証明する書類（課税に関する証明書等）を提出すること。

※「直近」とは2021年1月から12月までを指す。

※家計支持者とは、原則として父母の双方を指す。父母以外の者が代わって家計を支えている場合は、主に家計を支えている者を指す。

- 選考の結果は、合格発表と同時に決定者にのみ通知する。
- 入学後は、毎年学費減免の継続審査を行う。その際、成績等の状況より、学費減免が継続できない場合がある。
- 学費減免は、最大で標準修業年限（3年間）まで継続することができる。

学費減免申請書類

種類	出願書類及び注意事項
J	●学費減免申請書 * 直近（※）1年間の家計支持者の収入を公的機関が証明する書類（課税に関する証明書等）を添付すること。

● 経済的支援

本学では、大学院に在籍する外国人留学生に対し、月額6万円程度を上限としたティーチング・アシスタント（TA）またはリサーチ・アシスタント（RA）の雇用を準備しています。詳細については、合格発表時に提示する予定です。

※原則として他の奨学金との併給は認めない。

願書送付先・お問合わせ先：

創価大学理工学部事務室

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

創価大学理工学部事務室 大学院外国人入試係

TEL：042-691-4118 FAX：042-691-9311

<https://www.soka.ac.jp/en/grad-eng/>